

① No.1 (2014 年 5 月)

和田幹男「新共同訳とフランススコ会訳から学ぶ」、大島力「旧約学の動向と聖書翻訳」、小林進「聖書翻訳で直面する初歩的な問題—旧約篇—」、石川立「聖書を演じることと翻訳—多義性の問題—」、石黒圭「日本語における「省略」の考え方」

② No.2 (2015 年 12 月)

津村春英「それでも聖書翻訳」、飯謙「旧約詩編の新翻訳に関する覚え書き」、阿部包「パウロにおけるピステイスの意味—イエスの信仰とわれわれの信仰—」、辻学「第二パウロと真正パウロ—新共同訳における対応箇所翻訳の問題—」、石黒圭「聖書のなかの接続詞—口語訳聖書と新共同訳聖書の比較から—」、吉田新「日本聖書協会蔵 文語訳、大正改訳、文語訳改訂、口語訳聖書翻訳資料について」、松永美穂「聖書翻訳に携わってみて」

③ No.3 (2017 年 8 月)

小友 聡「新翻訳聖書の魅力—旧約詩文学を事例として—」、浦野洋司「言語に忠実な訳か文化を超えて解釈する訳か・名訳とは」、高橋洋成「旧約聖書における親族・部族用語の意味論」、小林進「イナゴ・バッタについて」、住谷眞「ヤコブ 3:6a の解釈をめぐって」、吉田新「大正改訳新約聖書稿本について」、柴崎聡「言葉の両義性」、「聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための指針 (1987 年改訂版)」(日本聖書協会 訳)

④ No.4 (2018 年 7 月)

柊曉生「脇の問題—創世記 2 章 21-22 節のツェラー ($\text{צֶלָה} / \text{šēlā}^{\prime}$) —」、石川立「聖書におけるイデオロムの訳し方」、住谷眞「ヨハネ 1:1-5 の新しい解釈」、石黒圭「聖書の読点の実態—口語訳聖書と新共同訳の比較から」、吉田新「文語訳改訂、共同訳聖書翻訳資料について」、大澤香「聖書の需要・解釈・翻訳—Marianne Grohmann の論考を手掛かりとして」

⑤ No.5 (2019 年 5 月)

岩本潤一「『聖書 聖書協会共同訳—回顧と展望』、高橋洋成「“Πᾶσα γραφή θεόπνευστος” 聖書の解釈と正典の意味に関する覚え書き」、樋口進「旧約における「食べて飲む」の表現について」、住谷眞「2 コリント 11:21 の解釈と翻訳をめぐって」、吉田新「第一ペトロ 2 章 13 節の翻訳の問題 共同訳聖書資料調査を踏まえて」、戸田聡「聖書翻訳の問題という森に迷い込んで」、佐藤裕子「聖書翻訳プロジェクトを終えて」

⑥ No.6 (2020 年 7 月)

高橋洋成「聖書協会共同訳における旧約の訳語目録稿 (1): 王国時代の役職用語と関連語」、柊曉生「赦してください。赦しましたように」(マタイ 6 章 12 節)、住谷眞「ルカ 2:49 の新しい解釈と翻訳をめぐって」、吉田新「口語訳聖書翻訳資料について」、春日いづみ「日本語担当としての思い」、岡野絵里子「雅歌の新しい訳をめぐって」

⑦ No.7 (2021 年 10 月)

高橋洋成「聖書協会共同訳における旧約の訳語目録稿(2): 部族用語・軍事用語・役職用語に関連する定型表現」、浦野洋司「更なるその先の展望・聖書協会共同訳を受けて—イザヤ

書 25 章 11 節の背景から学ぶ・非言語世界への視野—」、住谷眞「ヨハネ 20:17ab の解釈と翻訳をめぐって」、吉田新「「συνείδησις」の訳語をめぐる考察」、高橋洋成・遠藤佳那子「聖書翻訳におけるヘブライ語動詞連鎖の訳出—口語訳から聖書協会共同訳の実践へ—」

⑧ No.8 (2022 年 10 月)

小林進「安息日と年中行事 (暦)」、高橋洋成「イザヤ書 65 章 20 節の翻訳に関する覚え書き」、住谷眞「ヨハネ黙示録 22:2 の解釈と翻訳をめぐって」、吉田新「BasisBibel と聖書翻訳の未来」、飯島克彦「日本聖書協会の資料保存の現状について」

⑨ No.9 (2024 年 3 月)

高橋洋成「聖書ヘブライ語の「極性疑問—応答表現」に見る焦点構造」、辻学「死者への宣教 (一ペト 3:19; 4:6) をめぐって」、川崎千里「ラテン語翻訳聖書とアウグスティヌス」、遠藤佳那子「文語訳聖書における「死ねり」」

⑩ No.10

石川立「マタイによる福音書 1:19「夫ヨセフは正しい人であったので」の訳について」、大澤香「学校法人神戸女学院所蔵 松山高吉文庫資料から見る大正改訳聖書 —訳語「誠命 (いましめ)」をめぐって—」、戸田聡「尾山令仁牧師の『聖書 現代訳』をめぐって」